

なるコミュニティ

第一に我々は、

一つの共同体として真

文部科学副大臣と

亀岡偉民

することが非常に重要」と指摘。

を対話のテーブルにつかせ、

橋渡

コ・レッタ氏は、

い状況に対処するか考えるのはいい時

いること。藤崎一郎氏は日本が米中韓

刀をすること、エン・ヨングァン

派あることを紹介。張蘊嶺氏は大きな

山積するなか平和が鍵を握って

)貿易戦争に対しての考え方には2

いて。ジョン・ヘイムリ氏は、米

クラー

「いろいろなプレ

の役割とは何かを問題提起。

ン

アでの米国の存在感と北朝鮮の非核化大統領の外交政策を踏まえ、北東アジ

エドウィン・フルナー氏はトランプ

キム・スン

いうことである。

そのためには、

と高い目標を達成することが大切である。

ラムを通して、重要なポイント

ばならぬ時にあり、グロー

バルな課題に対して責任

開会挨拶

ときにきている。

このたび、東京大学と我々財団が共に東京フォーラ

「の第一回目を開催できたことの意味は極めて大き

ルな共同体を形成する時代なのである。

善・正義の価値を共有して行動するグロー

人々に感銘を与えようではないか。

分裂・分断を超

私たちがアジアから全世界に向けて声を上げね

関係をもとに、

単一の国だけでは解決できない課題

山積している。

だからこそ、

我々はいま共にアジ

きいことを今一度強調したい。アジアのリ

東京フォーラムを開催する意味が極めて大

ドとして確立することを目指す。

我々のもつ英知を最大限に活用して世界

未来に向かって行動を起こす

、緊張関係が広がって

いる。そこでは、

単一の利害

グローバルスタンダー D o u b l e

B a l

a n c i n g

luesを

元ニュージーランド首相、

かつてな

チェ・テウォン氏

韓国SKグループ会長、 Chey Institute for Advanced Studies 理事長

月歩で変化 的関係が日進 いて、地政学 する世界にお

的な価値と連動し、新たな価値を生み出す

従来型の企業の経済的価値を超えて、

社会

果の測定・評価方法を確立する必要がある。例えば、

は抽象的な説明に留まらない、

定性的、

定量的な効

ム・スンハン氏

価値を具体的に示すことが重要である。そのために

えるべき課題があるが、我々共通の経済的、

これから我々が取組むことで想定される利益や効果

第二に、説明責任をしっかり果たす必要がある。

今世の中が再び民主主義の危機にあることへの警鐘

き理由を示しながら、

具体的な効果を

しい課題に立ち向かうべ

88年のソウルオリンピックに言及り

Tokyo Forum 2019

—Shaping the Future

地球規模

の共同体

いが成に向いたの形成に向い

けて

我々が直面



の共催で実現したもので、日韓の学術交流の上にも大きな意味を持つ。 ーnstitute for Advanced Studies (C-AS)と 達な議論が 展開された。なお、本会議は韓国の学術振興財団Chev おした。そこでは、研究、政策決定、そしてビジネスの第一線のリーダーた 指した。そこでは、研究、政策決定、そしてビジネスの第一線のリーダーた 非 東京フォーラムが開催された。メインテーマは、Shaping the 9年12月6日から8日までの3日間にわたり、 ネスの第一線のリーダーた、未来を構想することを目課題の解決に向けて、複雑課の解決に向けて、複雑 東京大学にて第1 е

......

わされた。

林毅夫氏が特別講

演を行った。

ビジネスリーダーからの知恵と提言日韓の未来のために、

チェ・テウォン氏韓国SKグループ会長、

小倉 和夫氏 元駐韓・駐仏大使

際情勢・経済情勢についてのパネルセッシ

の基調講演で幕を開けた。

著名な国内外の

ョンも開かれ、活発な議論が交ケストによる2つの対談や、国

・グリンスパン氏、野依良治氏

ビジネス・経済セッション

東京フォー

-ラムは、

隈研吾教授、

グロー 実空間とサイバ バル・コモンズの構築を先導する大学の役割吗とサイバー空間が融合する



五神 真 我々は将来世代の 規模の課題が深刻 格差拡大など地球 に進歩する一方 科学技術が急激 地球温暖化や

会を創りあげなければならない。 の多様な特性を丁寧に扱うインクル 形のモノから無形のサー 6す不安定になっている。 昨今の情報通信技術の発展をみるにつけても、 地球と人類の調和と発展に向け、 -ビスへの価値シフトが人類

ことを考え、

が慣れ親しんだ、モノ中心の資本集約型の社会から、 格差を増大させてしまう危険も内包する。 自然に任 知識集約型の社会へとパラダイムシフトが起きて デジタル革新で代表される諸技術の発展はむしろ インクルーシブな未来社会としての

のさまざまな営みに不連続な変化をもたらす。我々

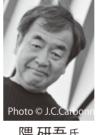
る。 の課題解決に積極的に関わる契機ともなる大学にお 出す場であり、そこに主体的に関わる人材を育成す われた学問の蓄積を学び、さらなる新たな知を創り 高等教育機関としての大学とは、長きにわたって培 Society5.0を実現することはできない 未来ビジョンを共有し、とりわけ次世代が社会 □東京フォーラムを開催できた意味は大

ればならない。このたびのフォーラムはまさにそう やNPO・NGOのリ Society5・0では実空間だけでなく、 論は、プライバシーや人権の問題と密接にかかわる。 てのステークホルダーが議論に参画し、 れる。実空間とサイバー空間が結合したグローバル・ 信頼性のある自由なデータ流通(DFFT) の持続可能性を確保すべく、 空間においても信頼や快適さ、 地球の資源と生態系を包含した概念 公平性が求めら 若者を含む全 の議 サ



隈研吾氏

建築家、





Secretaría General

beroamericana 事務局長

い世代へのメッセージ−界のリーダーから

の分野への投資を続け、世界を変

など最新テクノロ

三村 明夫氏 日本商工会議所会頭

中西 宏明氏 経団連会長

ホ・ユンス氏 GSエナジーCEO キム・ユン氏韓日経済協会会長

佐藤 康博氏 みずほフィナンシャルグループ取締役会長

代を育成、応援することが極めて重要教育の充実を訴えた。未来を担う次世ねばならないと、変革の時代に備えた は、子どもたちが創造的・建設的・援する意欲を表明。ジャック・マー であることを確認した。 革するような情熱的な若手起業家を応 子どもたちが創造的・建設的・革

日韓の経済協力の評価について発表。

最初にキム・ユン氏が韓国から見た

スタンスについて意見を述べた。

ホ・ユンス氏は、日韓の若者たちが

っている。客観的な現実と各論に基づ 「世界と日韓の経済は不確実性が高ま

日も早く日韓協力があるべき姿

策とLNGハブを構築する可能性につ ら携わるエネルギー分野での問題解決 興じる最新の文化交流の形、そして自

いて述べ、最後に佐藤康博氏は意外と

現状認識を持ってはじめて立ち向かう

来に関して悲観的になっては、

he Futur

-ラムのテーマである、Shap

レベカ・グリ

ことができる」と述べ、

自身の携わ

~ベロアメリカ会議と、 ラテンアメ

について解説。社会構造の変化をチャ 力で新しい中流層が生まれている現状

を取り戻すことが必要」と指摘。

Jack Ma Foundation ネスの世界ももう一回つくり直してい トラクチャー はグローバルな経済活動の中で一貫し に知恵を持ち合って、経済協力もビジ てつながっているが、マー それに続いて、中西宏明氏は「日韓

-が変わってきた。お互い

ケットのス

は地政学的なリスクを含めて、

我々は

関係について披露。「いまの世界経済 知られていない金融業界における日韓

孫正義氏

くことが、次の大きな目標」と主張し またチェ・テウォン氏は「ICT(情

協力しているわけではないが、マー そして三村明夫氏はこれまでの日韓関 ットシェアをwin・winで高度化 報通信技術)、とくに半導体分野では した協力関係を築き上げ、プラットフ ムづくりも可能である」と示唆。 今後経済人が取るべき 足元の問題から目をそ



●モデレーター

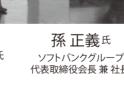






(リン・イーフー)氏

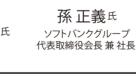
世界銀行

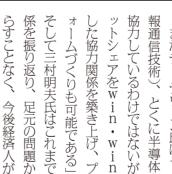


野依 良治氏

科学技術振興機構

研究開発戦略センター長、







際情勢セッション

次世代が描く Shaping h e F u ture.



藤崎 一郎氏 元駐米大使 中曽根平和研究所理事長、

ユン・ヨングアン氏元韓国外相

蘊積氏 中国社会科学院

ジョン・ヘイムリ氏アメリカてSIS所長

エドウィン・フルナー氏 ヘリテージ財団創設者 ●パネリスト

ン・イングク氏 CーAS事務総長

政学的転換と未来世紀北東アジアの



リ・コンホ氏 ENUMA 共同創立者、 チーフエンジニア

べた。い、成功したプロジェクトについて述 身の作品について説明。 を支援するアプリを使って試験的に行 演を行った。スプツニ子!氏は未来の 課題と機会の両方を考えさせるスペキ 日韓で活躍する2人が若い 教育の機会を奪われた子どもたち し、共感を広げるために特別講

新しい視点・視座





市の未来、そして地球規模の不平等に 持続可能な社会(SDGs)の創造、 若手、第一線の研究者を招いて開催。 に暮らす健康社会、デジタル革命、都 企画した6つのセッションを、 共通課題について、東京大学を中心に **八類にとっての安全保障、生涯を元気**

広

パラレルセッション

研究最前線の交流の場 東京大学の

フォーラム2日目には、地球全体の

志ある卓越



るかという観点が重要」と指摘し、

来指向の議論が積極的に展開された。

に立っている。その中で日韓をどう見 今までに見たことのないような転換点

Tokyo Forum 2019の詳細はこちら

https://www.tokyoforum.tc.u-tokyo.ac.jp/